

新年のごあいさつ



市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成21年の輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

さて、資源の高騰や、米国のサブプライムローン問題に端を発する金融危機などにより、自動車産業を中心とする製造業に大きな影響が出ています。このため、本市を含む西三河各市でも、税収の減少は避けられず、地域経済や市民生活に不透明感が漂っています。

しかし、本市は、従前の景気拡大期に地方債の発行(借金)を抑制し、積極的に基金(貯金)を積み立て、この景気後退期を乗り切る当面の体力を培ってきました。今後も、創意と工夫による経常経費の削減、慢性的な事業の廃止などで、財政の健全性・効率性を堅持するとともに、市民生活に不可欠なサービスについては、現状の水準を維持し、市民の暮らしを守っていきます。

また、環境首都にふさわしい魅力あるまちづくりに向け、引き続き、ごみ減量20パーセント削減をめざして取り組みます。このほか、子どもからお年寄りまで誰もが健康で安心して暮らせるよう、子育て支援や福祉の充実、教育施設の整備、市街地の基盤整備などを積極的に推進していきます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

安城市長 神谷 学

市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。平成21年の新春を迎え、謹んで皆さまのご健勝を心からお喜び申し上げます。

さて、名門証券会社の破綻、いわゆる「リーマンショック」をはじめとするアメリカ発の金融危機は、世界的な経済の混乱に波及、株安・円高・海外需要の落ち込みは、ゆるやかな拡大を続けてきた日本経済に急ブレーキをかけた。本市でも、雇用の悪化、税収の落ち込みなどが懸念され、今後、情勢の見極めと慎重な舵取りが求められます。

昨年の日本は、一昨年に続く食への不信、年金問題、政治の混乱など暗いニュースが多かった反面、夏は北京オリンピックに沸き、秋には4人の科学者のノーベル賞受賞も報じられるなど、明るい話題もありました。

本市では、ピアニストの田村響さんと柔道の谷本歩実選手の2人がすばらしい賞を受賞し、多くの市民に感動を与えました。この輝かしい成績は、両人の努力はもちろん、育まれた多くの人たちの協力の賜物であると思います。

新たな年を迎え、市議会も、子どもたちに明るい未来を届けるために、また、誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、一層努力していきたいと思えます。

結びにあたり、市民の皆さまには、ご健勝で良い年でありますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。



安城市議会議長 木村 正範